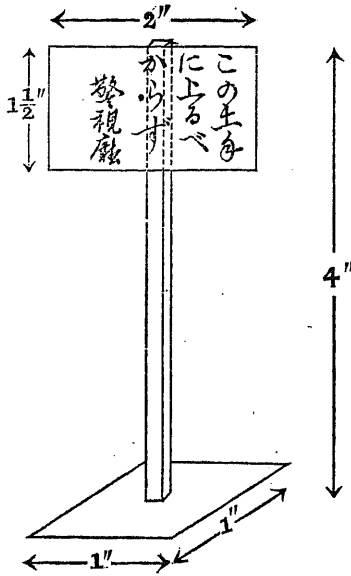


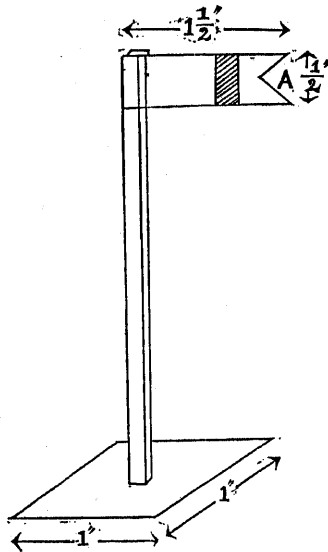
應手工玩具の造り方

藤 五 代 策 譯

第十五圖 揭示板



てる。信號標は長 $2\frac{1}{2}$ 幅 $1\frac{1}{2}$ の平板に圖の陰影を施し



平板を長 $2\frac{1}{2}$ 幅 $1\frac{1}{2}$ に裁ちて之に揭示事故を書き、
その裏面に長 $1\frac{1}{2}$ の隣寸棒を附着し、臺は $1\frac{1}{2}$ 平方の
平板を以て作る。

第十六圖 信柱號

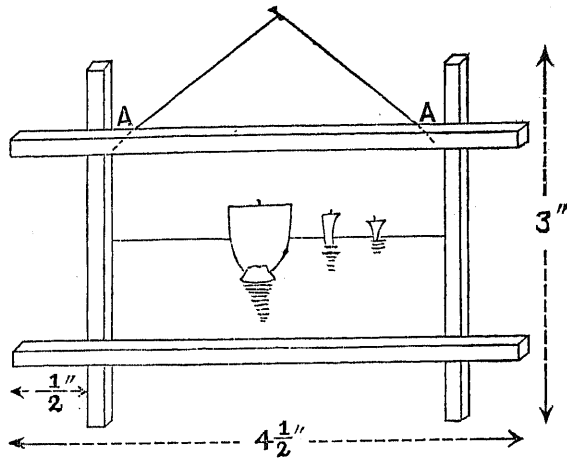
隣寸棒 $1\frac{1}{2}$ 長 $1\frac{1}{2}$ のものを平板 $1\frac{1}{2}$ 平方の臺の中心に建

た部分に赤の繪具を塗りAの部を三角形に切り抜
くのである、出來上つたら之を柱の頂に附ける。

第十七圖 額 縁

額は畫の大小に依て大きくも又小さくも作らね
ばならぬ、併し本圖の寸法は單に便宜上に與へた

に止る。先づ燐寸棒 A のを二本と B のを二本作り、之を膠で井の字形に附着するのであるが棒は



皆な其兩端が C 位宛外に出る様にせねばならぬ。そこで框が出来たら絲を適宜の長さに切り其兩端を框の裏に附けるのであるが、縁は極めて軽い物

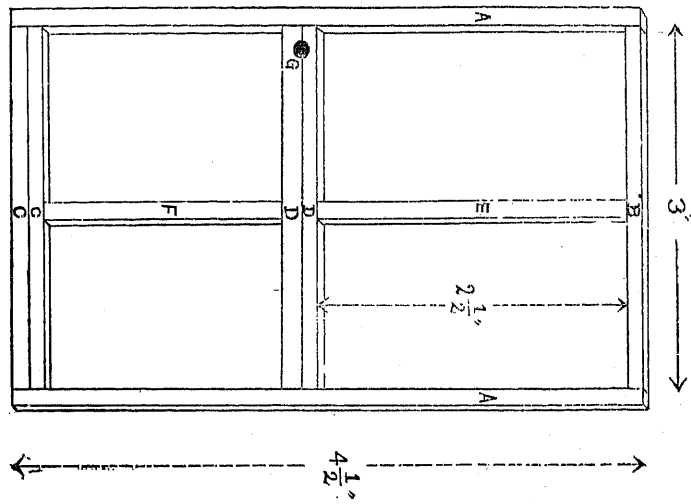
であるから結び附ける必要は無い、膠で一寸附けて置けばそれで澤山である。

それが出来たら今度は上と下との縁の裏側に糊を塗つて畫を貼り付ける。若し畫が豎向のものであつたならば無論絲は短い縁の方へ付けねばならぬ、尙ほ爰には縁を燐寸棒で作つたけれ共平板を狭く裁つたものを用ひても差支はない。

第十八圖 扉

平板を長 A 幅 B に裁ちて之を扉の板となす。先づ燐寸棒 A のを二本作りて平板の兩端 A に附着し。今度は B のを五本作りて其の中の一本は扉の上端 B に附着し、二本は下端 C に、それから殘の二本は中央の D に附着する。次に E のを二本作り各 E と F とに豎に附着す。それが出来たら取手を附けるのであるが、取手は G に示すが如く平板を丸形に裁ち之を長 H 位の燐寸棒に附着し而して後扉に取り付けるのである。

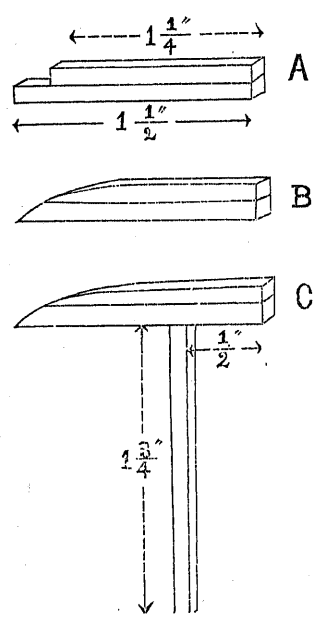
手取
p
g



第十九圖 錠(煉瓦積用)

隣寸棒を $1\frac{3}{4}$ " に切りて柄となし、次に錠の頭を作るには長 $1\frac{1}{2}$ " の $1\frac{1}{2}$ " との二本作りて之をAの

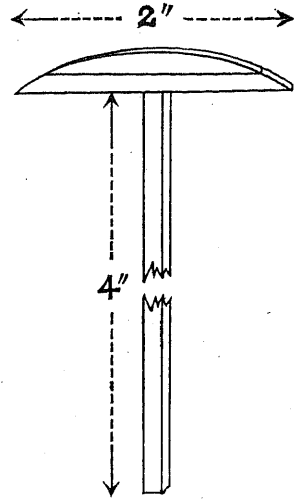
如く附着し、B圖に示せる如く其の一端を丸く削り、右端から隔つた所に柄を附ける。柄を附けるには膠だけでは丈夫とは云へないから膠を附ける



て尙其上に頭の頂から柄に通して留針を一本打ち込むのである。

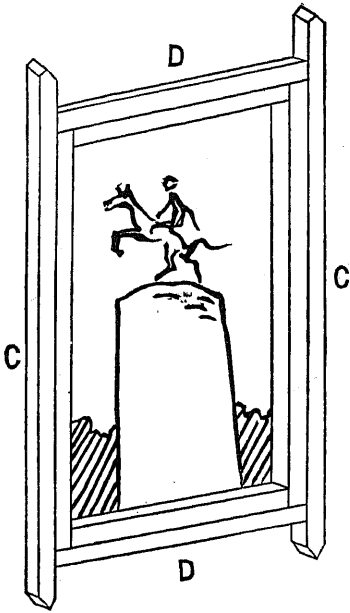
第二十圖 鶴嘴

先づ頭部を作るには隣寸棒の二本作りて前節と同じ様に之を附着して其の兩端の上部を錠のBに示せると同じ方法で丸く削り、柄を附ける時は矢張前と同じく留針を頭の頂から叩き込めば丈夫になる。

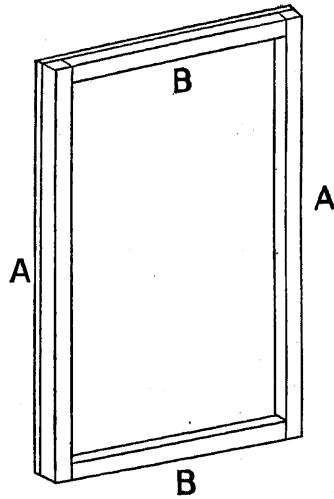


第二十一圖 寫眞の縁

畫でも寫眞でも雜誌の口畫でも宜しいから一枚取りて其の左右の兩縁にAなる隣寸棒を貼り附



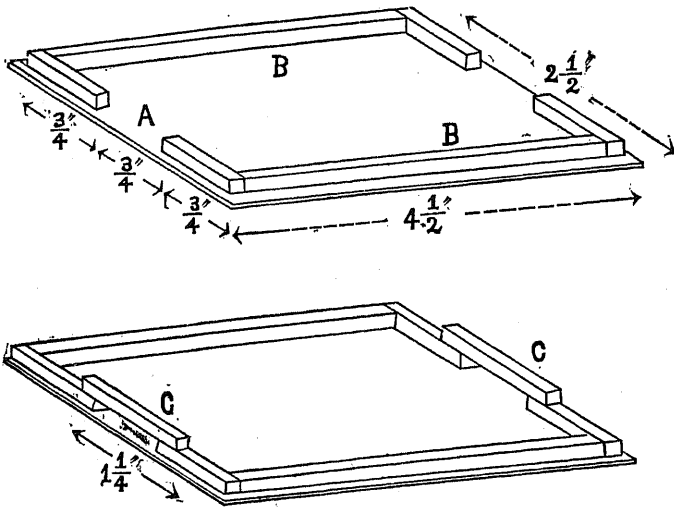
け、それから畫の上と下とにBなる棒を兩側のAとAとの間に嵌まる様に作つて貼る。之で縁は一



と通り出來た譯なれど未だ充分とは云へないから、今少し外觀をよくせねばならぬ。

そこでAよりも少長いCなる棒を二本作りて之をAの外側に附事する。今度はCとCとの間に恰度嵌まる長さの棒Dを二本作りてBの外側に附ける。斯くの如くして二重縁を作るのであるが、Cの兩端の外に突出た部分は畫の如く尖らしても宜しい。

第二十二圖 茶盆



長^①幅^②の平板を一枚作り、今度は長^③の
 燐寸棒を四本切り之を平板の縁から位^④隔て、縁
 に添ふて附着する、此時Aに示すが如く棒の端の
 間^⑤程づゝ明いてなければならぬ次にBなる棒を
 二本作りて之も矢張縁を位^⑥明けて附ける。それ
 が出来たら燐寸棒^⑦長^⑧のもの二本を作りてCに
 示せる如く兩端が均しくAの上に乗る様に注意し
 て附けるのである。

主客問答

客「こちらの幼稚園へおがりますと、いつも新らしい御考察に富
 んでおいでになります、敬服にたえません。一體どうして斯
 様に新工夫が次から次へ出来ましよう。どなたか特別御器用な
 方でも、いらつしやいますのですか?」

主「いえ。不器用者揃ひで御座います。」

客「澤山西洋の参考書でもお調べになりました?」

主「いえ。」

客「どなたか先生にでも御相談なまつて?」

主「いえ別に……」

客「では一體誰れからお習ひ遊ばします?」

主「幼児がかはるゝ、新工夫を教へて呉れますので……」